



フランクリン・テンプルトン・ グローバル・プレミア小型株ファンド (年1回決算型)/(年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 株式



【ご留意いただきたい事項】

- ◎ 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスクがあり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。
- ◎ ご購入に際しては、購入時手数料(上限3.3% (税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。
- ◎ ご購入に際しては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」により商品内容を必ずご確認ください。
- ◎ 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外で投資信託を購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象になりません。

お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は

フランクリン・テンプルトン・ジャパン

商号:フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

フランクリン・テンプルトン・グローバル・プレミア小型株ファンド

小型株のスペシャリストである、ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー*が、
“プレミア企業**”を発掘

*ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーは以下「ロイス・インベストメント・パートナーズ」
と記載することがあります。
**プレミア企業とは、際立ったビジネス・モデルや優れた財務内容に着眼し、ロイス・インベストメント・パートナーズが独自に選定した質の高い企業のことを言います。

小型株運用のパイオニア ロイス・インベストメント・ パートナーズ

ロイス・インベストメント・パートナーズは、
世界有数の小型株運用のスペシャリストです。
小型株運用のパイオニアで、
半世紀近くの歴史を有しています。

小型株への魅力的な 投資機会を追求

「ビジネス・オーナーとして保有したいか」
という観点から厳選した
“プレミア企業”への投資を行います。
質の高い小型株への厳選投資を行うことで、
投資成果の獲得を目指します。

設立当時から小型株運用に特化するスペシャリスト「ロイス・インベストメント・パートナーズ」



*1「ラッセル2000」は1984年より公開している、米国小型株の代表的な指数
(出所)ロイス・インベストメント・パートナーズ 2023年12月末時点
※為替は三菱UFJ銀行の2023年12月末 1米ドル=141.83円にて円換算

ロイス・インベストメント・パートナーズを象徴する2つの数字

98% 小型株のスペシャリスト
ロイス・インベストメント・パートナーズは運用資産の98%を小型株で運用しています。

93% 自己投資によるポートフォリオ・マネジャーの強いコミット
同社のポートフォリオ・マネジャーが100万米ドル以上自己投資している
同社ファンドの資産の合計は、同社ファンドの総資産の93%*2になります。
**自己投資について、同社は受益者との利益相反が起こらない仕組みを構築しています。
また、当ファンドへの投資は行いません。**

*2 同社の小型株に投資する米国籍のオープン・エンド型 뮤チュアル・ファンドの総運用資産に占める、少なくとも1人のポートフォリオ・マネジャーが100万米ドル以上投資している
ファンドの運用資産の割合
(出所)ロイス・インベストメント・パートナーズ 2023年12月末時点

※本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
※本資料の表紙「ご留意いただきたい事項」をご確認ください。

ロイス・インベストメント・パートナーズの主な受賞歴



*1. Royce International Premier Fund



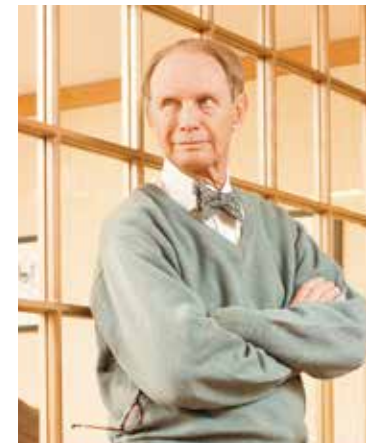
*2. Royce Opportunity Fund



*3. Legg Mason Royce US Small Cap Opportunity Fund

※上記の受賞歴は当ファンドを対象としたものではありません。過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

「ロイス・インベストメント・パートナーズ」の創業者



チャック・ロイス
CHUCK ROYCE

1962年より資産運用業界に従事し、
米国では「小型株投資の長老」と呼ばれる。
現在もポートフォリオ・マネジャーとして活躍している。

※同氏は、当ファンドのポートフォリオ・マネジャーではありません。

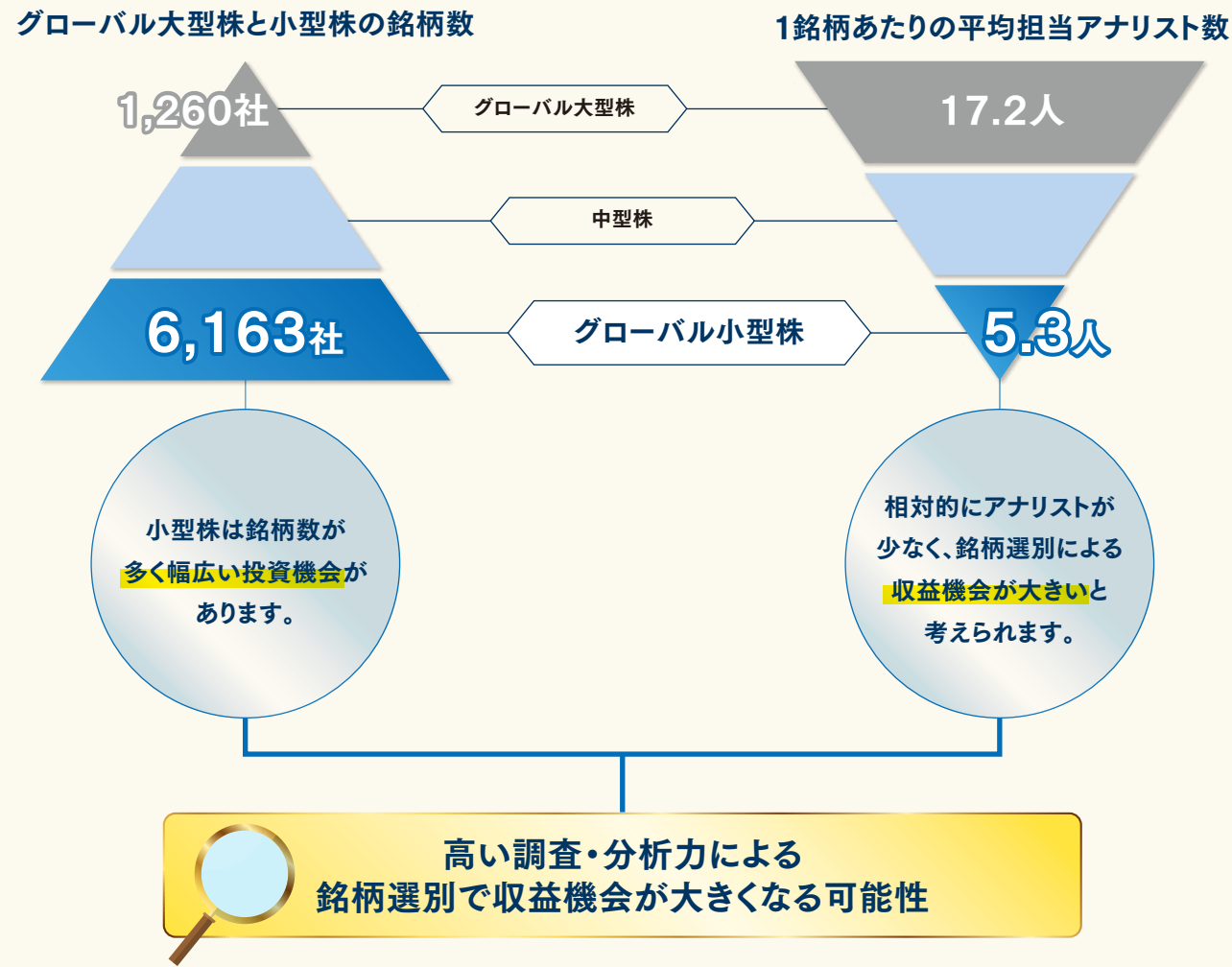
投資家の皆さまへ ~小型株という選択肢~

「小型株」—短期間で急速に成長し、株価も大きく上昇する企業、
いわゆる「アメリカン・ドリーム」の世界をイメージする方が多いかもしれません。
しかし、当戦略での小型株運用は、そういった一般的なイメージのものに留まりません。「ビジネス・
オーナーとしてその企業の株式を保有したいか」という観点から確信度の高い銘柄を厳選し、中長期
的な投資成果をお届けすることを目指しています。
小型株の分析・運用には特別なノウハウや情報の蓄積が必要となりますが、
私たちはそのトップランナーとしての自負があります。

ロイス・インベストメント・パートナーズ

ROYCE
Investment Partners

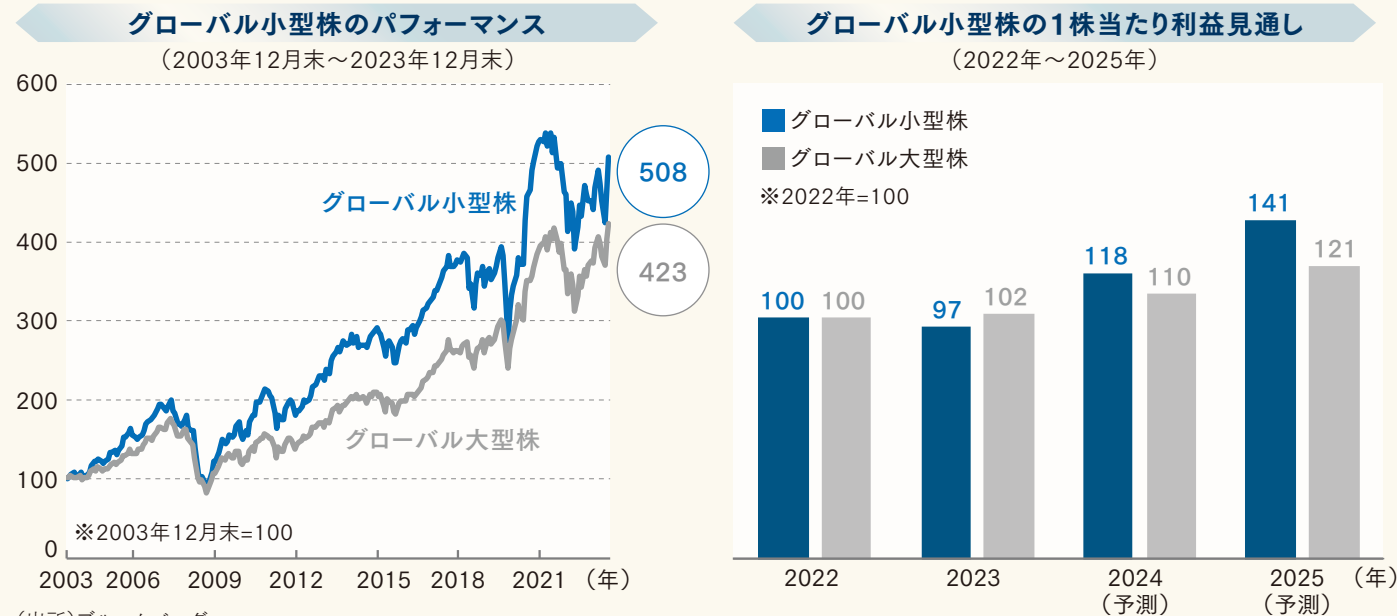
グローバル小型株の銘柄選別による収益機会



(出所)ブルームバーグ、ファクトセット
 ※2023年12月末時点 ※グローバル小型株:MSCI ACWI小型株指数、グローバル大型株:MSCI ACWI大型株指数
 ※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

グローバル小型株のパフォーマンス

グローバル小型株はグローバル大型株と比べて高い利益成長が予測されています。



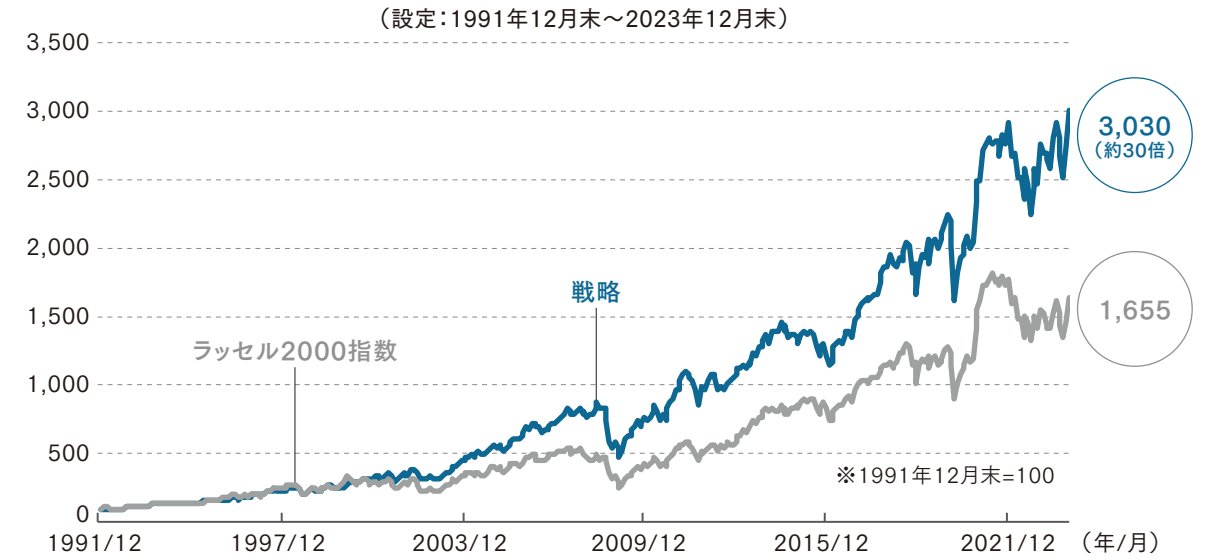
(出所)ブルームバーグ
 ※グローバル小型株:MSCI ACWI小型株指数、グローバル大型株:MSCI ACWI大型株指数
 ※パフォーマンスは米ドルベース、全て配当込み ※1株当たり利益見通しは米ドルベース ※2024年以降の1株当たり利益見通し予測は2024年1月4日時点
 ※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
 ※本資料の表紙「ご留意いただきたい事項」をご確認ください。

(ご参考)運用担当者による類似戦略

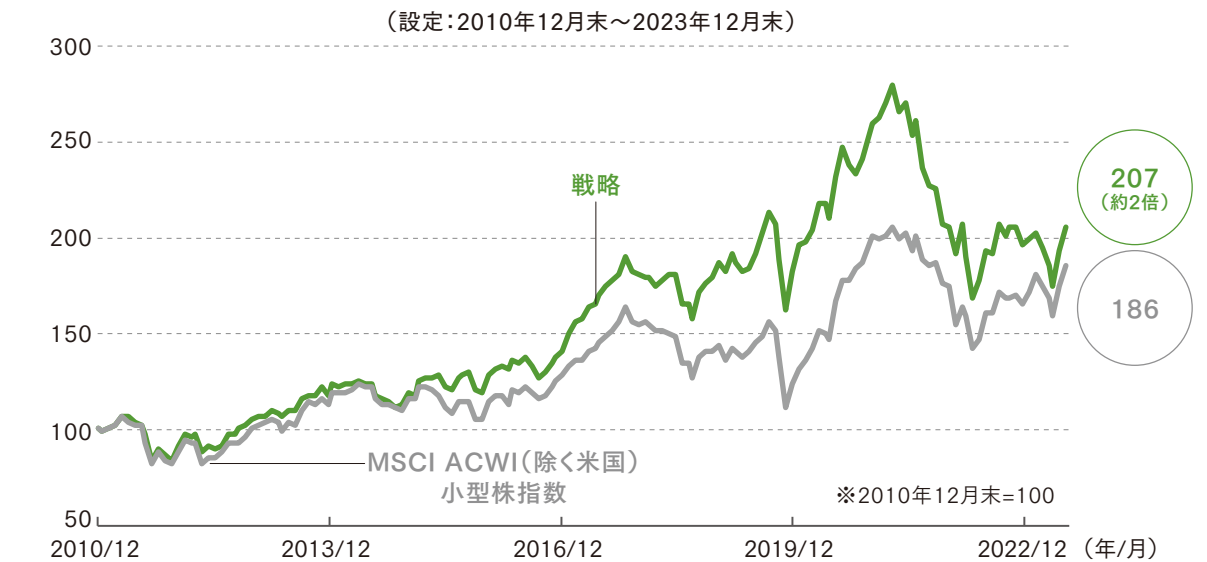
米国小型株を主な投資対象とした戦略の運用実績

■ 銘柄数 50 ■ 運用期間 約32年 ■ 純資産総額 約2,035億円



米国以外の小型株を主な投資対象とした戦略の運用実績

■ 銘柄数 58 ■ 運用期間 約13年 ■ 純資産総額 約707億円



(出所)ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ 2023年12月末時点
 ※各戦略のパフォーマンスはInvestment Class(米ドルベース、信託報酬控除後、税金は未考慮)、各戦略の純資産総額はブルームバーグの2023年12月末時点 1米ドル=141.04円にて円換算
 ※MSCI ACWI(除く米国)小型株指数、ラッセル2000指数は米ドルベース、全て配当込み

上記は当ファンド運用担当者による類似戦略の運用実績であり、当ファンドの運用実績ではありません。
 上記戦略と当ファンドの保有銘柄は必ずしも一致しません。

当ファンドの投資哲学

数多くある小型企業の中、当ファンドでは
ビジネス・オーナーとして保有したいか?

という観点から

質の高い“**プレミア企業**”へ厳選投資

“**プレミア企業**”を
発掘するための
着眼点

際立った**ビジネス・モデル**

明確な強み
(ブランド力、規模、知的財産など)

利益率が高く安定的

優れた**財務内容**

過度な借入をせず、
成長のために利益を再投資

多角化に走らず、
株主還元策を意識

※本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
※本資料の表紙「ご留意いただきたい事項」をご確認ください。

銘柄紹介

IPH(オーストラリア、資本財・サービス)

- 知的財産権の保護、管理、商業化等に関する業務を提供(2014年設立)
- オーストラリア等を中心にアジア地域で事業展開
- 時価総額:1,515億円(2023年12月末時点)

※為替はブルームバーグの2023年12月末 1豪ドル=96.06円にて円換算

※写真はイメージです。



ロイスの評価ポイント

- ・特許期間が切れるまでの長期的なサービス収入による安定的な収益構造
- ・強固なバランスシートとM&Aを活用した成長戦略

■株価と利益推移(2016年~2024年)



TKC(日本、情報技術)

- 会計事務所及び地方公共団体に対して、財務会計や税務に関する情報サービスを提供(1966年設立)
- 時価総額:1,999億円(2023年12月末時点)

※写真はイメージです。



ロイスの評価ポイント

- ・定期的なサービス収入による安定的なビジネス・モデル
- ・強固な財務内容で景気変動に対する強い抵抗力がある

■株価と利益推移(2016年~2023年)



(出所)ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ、各会社資料
 ※株価は2016年初~2023年12月末 ※利益はEBITDA(利払い前・税引き前・減価償却前利益) ※予測はブルームバーグの2024年1月17日時点 ※IPHの年度:前年7月~当年6月、TKCの年度:前年10月~当年9月 ※グラフ横軸単位(年度、年):年度は利益、年は株価に対応 ※銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・テンプレトン・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式名称と異なる場合があります ※業種はGICS(世界産業分類基準)による分類です ※写真はイメージです

上記の銘柄は投資者の皆さまにイメージをつかんでいただくために、ロイス・インベストメント・パートナーズより提供された情報であり、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。また、特定の有価証券等の取得または売買推奨を行うものではありません。

ファンドの特色

1 日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場されている小型株式に投資します。

- フランクリン・テンプルトン・グローバル・プレミア小型株マザーファンド(以下「マザーファンド」ということがあります。)を通じて、主に日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている小型株式に投資します。
- 個別企業に対する定量的および定性的なファンダメンタルズ分析に基づき、競争力、収益性、財務の安定性に優れていると評価された銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。
- 投資対象とする国に制限は設けません。新興国への投資割合は、取得時において30%を上限の目安とします。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

3 「年1回決算型」と「年2回決算型」があります。

- 年1回決算型：毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日。)
- 年2回決算型：毎年6月6日及び12月6日(休業日の場合は翌営業日。)

※委託会社の判断により、分配を行わない場合があります。

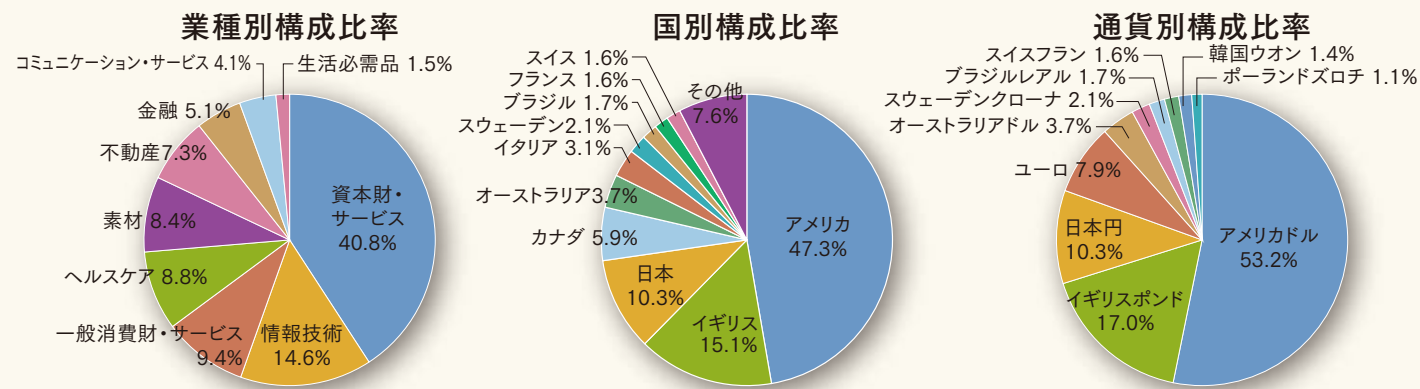
4 運用はフランクリン・テンプルトン・グループのロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーが行います。

- マザーファンドの運用は、「ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー」に委託します。
※ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーはロイス・インベストメント・パートナーズのブランド名で事業活動を行っています。

※資産動向、市場動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

マザーファンドの運用状況 (フランクリン・テンプルトン・グローバル・プレミア小型株マザーファンド) 2023年12月末時点

銘柄数	75
-----	----



※構成比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。
※小数点以下第2位四捨五入のため、合計が100.0%にならない場合があります。
※業種はGICS(世界産業分類基準)による分類です。
※本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
※本資料の表紙「ご留意いただきたい事項」をご確認ください。

当ファンドについてのご注意事項

- 投資元本を割り込むことがあります。**
 - 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。
 - 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
 - 当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
- ファンドに係るリスクについて**
 - 当ファンドの基準価額を変動させる要因としては、主に「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」や「流動性リスク」などがありますが、基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。ファンドのリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 分配金が支払われないことがあります。**
 - 分配対象額が少額等の場合は、分配を行わない場合があります。
- 当資料中のデータは将来の成果を保証するものではありません。**
 - 当資料で使用しているデータ等は過去の実績に基づく情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

その他重要な事項に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)等に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

* MSCI ACWI 小型株指数(MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス小型株指数)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の小型株式で構成されています。
MSCIが算出する指数に対する著作権及びその他知的財産権は、全てMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.では、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

投資リスクおよび留意事項

当ファンドの基準価額を下落させることがあるいろいろなリスクを理解して、慎重に投資をご判断ください。当ファンドの主な投資リスクおよび留意点は下記の通りです。

- ① 株価変動リスク(株価が下がると、基準価額が下がるリスク)**
一般的に株式市場が下落した場合には、当ファンドの投資対象である株式の価格は下落、結果として、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、当ファンドが実質的に投資している企業が業績悪化や倒産等に陥った場合、当該企業の株式の価格が大きく下落し、当ファンドの基準価額により大きな影響を及ぼします。
- ② 為替変動リスク(円高になると、基準価額が下がるリスク)**
一般的に外国為替相場が円高となった場合には、実質的に保有する外貨建資産に為替差損(円換算した評価額が減少すること)が発生することにより、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。
- ③ カントリーリスク(新興国に投資するリスク)**
一般的に、新興国の有価証券市場は、先進国の市場と比較して市場規模が小さく、相対的に流動性の低い市場が含まれます。また、法制度・会計基準等が先進国と異なる場合や、情報開示規制・決済システム等が未整備である場合があります。そのため、新興国の有価証券は、先進国の有価証券と比較して、価格変動が大きくなる場合があります。当ファンドの実質的な投資対象国においては、特有の税制が存在する場合や、税制が突然変更されたり、新たな税制が適用される場合があります。これにより当ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。当ファンドの実質的な投資対象国における政治、経済、社会情勢の変化、税制、適用税率の変更、通貨または資本規制等の投資機会に影響を与える規制の発動等に伴い、当ファンドの投資目標に沿った運用が困難となる場合や基準価額が大幅に変動または下落する可能性があります。
- ④ 流動性リスク(小型株に投資するリスク)**
一般的に小型株式は大型株式と比較して、市場での取引量が少ない場合があり、売買をしようとする際に売買が成立しないこと、市場実勢から期待できる価格どおりに取引が行えないことがあり、これらの要因が当ファンドの基準価額に影響を及ぼす可能性があります。

その他の留意点

- 収益分配金は分配方針に基づいて毎決算時に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わないことがあります。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

(注)基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当資料に関する留意事項

- 当資料は、販売用資料としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。
- 当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。
- 当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。
- この書面およびここに記載された情報・商品に関係する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他方法で配布することはご遠慮ください。

手続・手数料

■お申込メモ

購入単位	販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込受付分とします。
購入・換金の申込受付不可日	ロンドン証券取引所またはニューヨーク証券取引所の休業日の場合には、購入・換金申込は受け付けません。
換金制限	資金管理を円滑に行うため、信託財産の残高規模、市場の流動性の状況等によっては、換金制限を設ける場合があります。
信託期間	2044年12月6日まで(2018年12月7日設定)※信託期間は延長することがあります。
決算日	年1回決算型:毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日) 年2回決算型:毎年6月6日及び12月6日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配方針に基づき分配を行います。当ファンドには分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。ただし、販売会社により取扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※税法が改正された場合等には、内容、税率が変更になる場合があります。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	申込金額(購入申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額)に販売会社がそれぞれ独自に定める率を乗じて得た額とします。手数料率の上限は、 3.3%(税抜3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し 年率1.87%(税抜1.70%) ※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。なお、信託財産からは「年1回決算型」は毎計算期間の最初の6か月終了日(当該終了日が休業日のときは、その翌営業日を6か月の終了日とします。以下同じ。)および毎決算時または償還時に、「年2回決算型」は毎決算時または償還時に支払われます。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、保管費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税等 原則として発生時に、実費が信託財産から支払われます。 その他諸費用(監査費用、印刷等費用、計理およびこれに付随する業務の委託等の費用、受益権の管理事務費用等) 日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額を上限として委託会社が算出する金額が毎日計上され、基準価額に反映されます。なお、信託財産からは「年1回決算型」は毎計算期間の最初の6か月終了日および毎決算時または償還時に、「年2回決算型」は毎決算時または償還時に支払われます。 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

(注) 投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、各ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人の概況

委託会社	フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社	ホームページ	https://www.franklintempleton.co.jp
投資顧問会社	ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー	電話	(03)5219-5940(受付時間 営業日の午前9時~午後5時)
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社		
取扱販売会社の照会先	フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社		

お申込みに関する留意事項

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本および利息の支払いの保証はありません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまに帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社にご請求ください。●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。